令和８年３月２３日

名古屋港管理組合
NAGOYA PORT AUTHORITY

令和７年名古屋港港湾統計速報

（概　況）

入港船舶は、隻数が 27,769 隻(前年比 1.1%増)と前年実績を上回り、総トン数が 2 億 1,589 万トン(同 0.2%増)と前年並みとなった。

総取扱貨物量は、1 億 5,935 万トン(同 1.7%増)と前年実績を上回った。

そのうち、外貿貨物では、輸出は完成自動車、産業機械等の増加により、4,453 万トン(同 2.3%増)と前年実績を上回り、輸入はＬＮＧ（液化天然ガス）等が減少したものの、鉄鉱石等の増加により 6,802 万トン(同 0.8%増)と前年並みとなり、全体では 1 億 1,255 万トン（同 1.4%増）と前年実績を上回った。

また、内貿貨物では、移出は完成自動車等の増加により、2,347 万トン(同 4.2%増)と前年実績を上回り、移入は完成自動車等が増加したもののセメント等の減少により、2,333 万トン(同 0.7%増)と前年並みとなり、全体では 4,680 万トン（同 2.4%増）と前年実績を上回った。

外貿貨物のうち、コンテナ貨物では、輸出は自動車部品、完成自動車等が減少したものの、産業機械等の増加により 2,294 万トン(同 0.3%増)と前年並みとなり、輸入は衣服･身廻品･はきもの、自動車部品等の増加により 2,378 万トン(同 3.3%増)と前年実績を上回り、全体では 4,672 万トン（同 1.8%増）と前年実績を上回った。

コンテナ取扱個数では、外貿コンテナは 264 万 TEU（同 1.9%増）と前年実績を上回り、内貿コンテナは 15 万 TEU（同 11.5%減）と前年実績を下回った。全体では 279 万 TEU（同 1.1%増）と前年実績を上回った。

外貿貨物の国別取扱貨物量は、上位５ヶ国を見ると、輸出においては、アメリカが完成自動車等の増加により 491 万トン(同 7.5%増)、中国が自動車部品等の減少により 473 万トン(同 0.1%減)、オーストラリアが完成自動車等の減少により 298 万トン(同 13.9%減)、アラブ首長国が完成自動車等の増加により 280 万トン（同 8.4%増）、タイが自動車部品等の増加により 239 万トン(同 4.7%増)となった。

一方、輸入においては、中国が鉄鉱石等の増加により 1,431 万トン(同 9.4%増)、オーストラリアが LNG（液化天然ガス）等の増加により 1,354 万トン(同 1.1%増)、アメリカが LNG（液化天然ガス）等の減少により 667 万トン(同 6.1%減)、サウジアラビアが原油等の減少により 383 万トン(同 8.0%減)、マレーシアが LNG（液化天然ガス）等の増加により 363 万トン(同 7.1%増)となった。